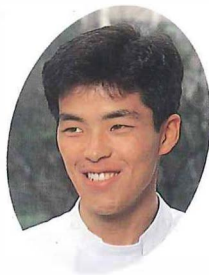


ZOOM UP



1990.No.70



歯界展望

昨年4月、13年余り当大学にご貢献された石川堯雄歯学部長に続いて、ご就任された河野篤歯学部長。今年20周年を迎える大学としては、3代目という異例の少なさだ。ただし卒業生は今年15回生を送り出し、総数2,160名と、徐々に日本の歯科医療界の一角を築きあげつつある。

「お待ちせ致しました」と気さくに取材に応じてくれた歯学部長。写真でもおわかりのようにふっくらとやさしい印象通り、口調も柔らかく、お話しの内容もザックパン。おそらく学生さんにも、気軽に相談できる歯学



鶴見大学 歯学部長

河野 篤

部長として好感を呼んでいることであろう。ご経歴も昭和48年に東京医科歯科大学より赴任されたと言われるから、云わば当大学歯学部の歩みの証人の一人というわけである。又、河野歯学部長開講15周年を記念して出版された記念誌には、総山孝雄東京医歯大名誉教授、細田裕康東京医歯大病院長、和久本貞雄昭和歯学部長、岩本次男神歯大教授、K.D.ヨルゲンセン教授(デンマーク王立歯大)をはじめとして我が国の歯科界の第一線の方々キラ星のごとく祝詞をのべておられる。歯学部長の篤実なお人柄がわかるようだ。

「当大学は、東京のすぐ隣りにあり、駅から徒歩5分という交通便利なところにあるにも拘わらず、鶴見という地名が全国的にあまり知られていないためか、かなり辺鄙な場所と思われ、その点がちょっと不利ですね」と笑われる。特徴としては「曹洞宗の大本山

総持寺を母体として創設された大学ですので、教育の柱に心の修業を採り入れ、とくに一年生の宗教学(週1回)では15分間、自分の机で座禅を行っています。簡単な冥想ですが、現代人が忘れかけている、人間同士の暖かい心のふれ合いの大切さを知る意味で、特に医療に今後携わる学生には、良い経験となっております。第2は、紫雲会という篤志解剖献体の会と密接な関係にあるところから、解剖実習には4人に1人と恵まれ、医師にとって大切な解剖学を充実した内容で行うことが出来ます。第3は先生方が研究と教育に熱心で同時に学生の面倒見が良いこと、今でも患者さんのご協力で学生の臨床実験が続けられている

ことです。また、他大学でも国際交流が盛んに行われておりますが、当大学も、すでに中国首都医学院や韓国檀国大学と姉妹校を締結すると共に、欧米との交流も計画しております」巾広い教育・知識、更には病む人を労る暖かい心が今後の歯科医療界にとっては不可欠な条件。その双方から歯科医師をじっくり養成しようという大学の姿勢が伝わって来る。

ご出身は長野県の上伊那。歯科医師の次男として生まれ、現在お兄さまが実家で歯科医。「特に歯科が好きということでもなかったんですが、親の勧めで入っちゃったんですよ(笑)。卒業すぐ実家で一年程父と共に診療をやりましたが、その後医科歯科大にもどりまして」そこで大恩師とも云うべき総山・名誉教授と出会う。「総山先生は、ご存じのように日本の歯科医療に大きく貢献された方ですから、自身にも他人にも厳しかったですね。でも、その中に人間としてのやさしさ、思いやりは人一倍強く、私達助手一人一人の身になって考えて下さる方で、私は自称総山先生の助手第一号だと云っているんですよ(笑)」

歯科医療界の将来については「私は昔の父の診療生活を知っておりますが、当時と比較して現在の歯科医師の生活は決して悪くありません。もちろん急上昇した一時からは少し下がったかも知れませんが、それが即、歯科医療の将来は暗く、歯科界に明日はないような話にはならないと思います。今は歯科医学界全体のマイナス面ばかり強調されているような気がします。こらでイメージ改革して明るい面も後輩に語り、優秀な学生を入学させることが将来の歯科界の発展には大切なこ

とだと考えます。黙っていてもどんどん患者が来た時代をいつまでも思っているより、度胸を決めて「いかにすれば患者の為になるか」を考える歯科医師本来の姿勢をとりもどせば、社会的な信頼も得られ、人間として素晴らしい職業だと感謝する時が必ず来ます。学問の進展と時代の要請により、歯科医療も私達の学生時代に比べて専門化され、深い知識と巾広い勉強を必要とする時代になりました。医学の進歩に止まりはありません。生涯勉強、これしかありませんね」そうした中であって、大学の役目は「将来の日本の歯科医療界を背負う学生をしっかりと教育することは勿論のことですが、卒後の研修会にも、歯科医師会の要請があれば何時でも受けて立ちますし、各地の講習・勉強会にも率先して講師を派遣する準備は整っております」大学における先端の研究成果を機会があり次第各地で発表し、日本全体の歯科医師のレベルを向上させて行く。開業医と大学における研究者の責務を永年の学究生活から正確に見据えておられる。

鶴見大学歯学部の将来構想は「交通至便で国際都市横浜の中心に近いところから、海外からの研修生を更に増やし、教育内容を充実させると共にそうした方々の宿泊施設を近いうちに作りたいと準備を進めています。また、卒前・卒後教育のより一層の充実と、卒業生や開業医の方々にも最新の設備機器や先端技術を気軽に利用出来る開かれた歯科医療のセンターとして、歯科医の皆さんと共存共栄を計りつつ、多方面にわたって患者さんに奉仕する役目を今後とも果すとともに、条件さえ整えば、国際的に通用する基礎研究の出来る研究棟の増設や、設備の拡充を行いたいと思います。

●略歴

- 昭和7年2月 長野県上伊那郡箕輪町に生まれる
- 昭和33年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 昭和35年4月 東京医科歯科大学歯学部助手
- 昭和40年4月 東京医科歯科大学歯学部講師
- 昭和43年10月 歯学博士授与(東京医科歯科大学)
- 昭和44年4月 東京医科歯科大学歯学部助教授
- 昭和44年6月 デンマーク・コペンハーゲン王立歯科大学に文部省在外研究員として出張(昭和45年6月まで)
- 昭和48年4月 鶴見大学歯学部教授
- 日本歯科保存学会理事
- 昭和52年6月 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員(昭和58年5月まで)
- 昭和52年11月 歯科医師試験委員(昭和60年10月まで)
- 昭和54年4月 全国歯科学学生体育連盟理事(昭和56年3月まで)
- 昭和60年2月 文部省学術審議会専門委員(昭和62年1月まで)
- 昭和62年4月 鶴見大学歯学部附属病院 病院長
- 平成元年4月 鶴見大学歯学部長(現在に至る)

歯科医師会〈活躍だより〉

社団法人 鹿児島県歯科医師会

会 長 山内 保男
副 会 長 末野 勝男
副 会 長 牧角 龍治
専務理事 浜田 義彦
常務理事 橋木 勲
常務理事 四元 貢
常務理事 福留 重夫
理 事 隈元 伸一
理 事 森原 久樹
理 事 市来 英雄
理 事 福岡 力
理 事 曾山 幸一
理 事 竹之下伸一
理 事 門松 秀久
常務監事 児玉 利徳
監 事 新原 健郎
監 事 重山俊一郎



鹿児島市随一の繁華街・天文館。そのバス停より徒歩で4～5分の古戦場城山の真下に位置し、地上六階建の「鹿児島県歯科医師会館」。館内は鹿児島県歯科学院専門学校を初めとして、大ホール、講堂、会議室等が県下の会員のために設置されている。

お出迎え下さった事務局長の久保さんや職員の方々、皆さん親切に取材にご協力、お手配下さり、こちらが恐縮してしまう程であった。昨晚遅く、日歯代議員会で東京からお帰りの山内会長、浜田専務理事に加えて、末野・牧角副会長が定例理事会の合間をぬって、県

下歯科医師の現状、将来、また歩み等を語って下さった。

NHK「翔ぶが如く」で賑わう鹿児島。お集りの17名の理事、監事の方々の中から、日本歯科界の歴史にその名を残す傑物が現れるか。乞うご期待！

まず山内会長から鹿児島県歯科医師会の歩みと現状を語って頂く。



会長／山内保男

山内：本会は明治41年に第1回定時総会を開催し、本会創立が可決され、当時の会員数6名で、初代会長は、金子孫四郎氏で、私は15代目の会長であります。当会の歩みも、幾多の変遷・苦難な道があったようです。会員の動向をみますと、昭和35年343名、45年371名、55年478名、60年561名、現在630名を有する会に発展致しました。昭和63年11月には、80周年式典を挙行し、歴史の中で、私ども会員が地域歯科医療の現場の担い手として行政のご協力を得て、口腔衛生思想の普及に取り組んできたことが認められ、63年10月、





副会長／末野勝男

第40回保健文化賞を受賞致しました。これからは、会員の期待に応え、福祉と医院経営の充実と、県民の歯科医療に寄与し、併せて地域社会の歯科医療対策の促進に努力することが、本会の使命であると考えております。現状については専務から説明してもらいます。

浜田：本県は、人口180万で、会員数630名、保険医登録数は990名で、鹿大歯学部は、歯科医師、勤務医としてカバーしております。人口は変動があまりなく、本県出身者の歯学部在籍数は、400名以上が維持されており、新入会員数は、20～30名で増加率が高くなっており、大きな不安材料となっております。非会員がでないように各市郡歯科医師会の役員の方々に努力していただいております。

Q：鹿児島県ではどのような事業が行なわれていますか？

末野：学術部では、ブロック別1日セミナーを全会員対象に行なっており、会員の参加も80%台です。地方学会、総会学会など開催しております。公衆衛生部は、在宅寝たきり老人歯科保健推進モデル事業、心身障害児(者)歯の健康教室、そして歯周病予防大会(6回)、子供からむし歯をなくそう県民大会(15回)などです。口腔保健センターおよび歯科巡回診療車は、会員、関係各位の協力により、心身障害児(者)歯科診療、休日急患歯科診療をはじめ、乳幼児に対して予防処置ならびに歯科医療に恵まれない離島僻地住民の巡回診療を行ない、県民の健康、衛生思想の普及に努めています。

牧角：医療管理部は、税務・労務・救急医療・医院経営の4本柱を軸として事業を行なっており、巾広い大切な分野と考えております。

厚生部は、会員の健康のため、スクリ

ーニングテストの実施、そして会員相互の福祉共済事業、デンタルスタッフ教育講座等を行なっております。また、70才以上の会員は、雀大学に入学してもらい、健康管理を目的とした講演会を開催しています。

保険部は、毎月保険部便りを発行し、会員と直結したものとし、将来的には、会員の手作りの冊子の発行を考えております。



副会長／牧角龍治

Q：対内外的な面はどうなっておりますか？

浜田：対外的には、県行政、鹿大歯学部、警察、各団体との協議会を定期的に行ない、全面的な御協力を得ております。また、九地連(8県)協議会、三地区(九州、四国、中国)協議会は、各県もちまわりで開催されております。

対内的には、本会が15市郡歯科医師会で構成されているため、会長・専務会、各市郡担当者会を開き、会員の声を反映

し、事業が円滑に推進できるようにしております。

Q：将来の展望について



専務理事／浜田義彦

山内：歯科界は、厳しい環境下におかれていますが、需給関係のアンバランスの改善の政策と実行が第一であり、歯科医師会と歯科医師の活力を生み出すことが必要です。県民のニーズに応えるためには、地域住民の御協力と御理解がなければなりません。高齢化社会に向かって生涯を通じての口腔衛生思想の普及は大切なことであり、成人歯科疾患の対策、老人歯科医療は、検診事業を推進することにより大きく伸びる分野であり、われわれの努力と積極的な取り組み方によって難局を打開することができるかと確信しています。21世紀への明るい展望は、20世紀後半の歯科医の汗と智力によって達成されるものだと思います。そのために、会員一一致団結して頑張っていく覚悟であります。



〈診療室拝見〉

笠間歯科医院

群馬県山田郡大間々町大字大間々974

院長 笠間行雄



東京・浅草から東武鉄道に乗っておよそ1時間50分余り。大間々町は上毛電鉄、わたらせ渓谷鉄道、東武鉄道を結ぶ交通の要所であり、時代をさかのばれば、生糸の集散地、足尾銅山の搬出路として栄えた町である。

ご紹介の笠間歯科医院は、町の中心を南北に走る国道122号線に面した商店街の中に、永年続いた歯科医院らしい風格をそなえて建っている。

10数台は駐車可能と思われる1F駐車場脇から玄関に入り、靴をぬいで2階に上るとコの字型の待合室に出る。壁面通路に沿って茶色のベンチ式の待合椅子が3台。床は濃いブルーのカーペット。天井、壁は濃淡の茶系でまとめ、受付台は、曲線を取り入れたガラスの窓口方式を採っている。

診療室は、天井、床が白。キャビネット類を薄いブルー系でまとめ、ともすれば冷たい雰囲気になる診療室にアクセントを加えている。ㄱ形に、天井から床まで大きく取った窓、その窓辺に沿って、スマイリー〈フライン〉が4台並ぶ。2階部ゆえ、視線は広々とした外部の景色へと向かう。10数年以上も前に建てられたと云われるが、内部は少しも古さを感じられず、明るく、それでいてホッとする暖かさを漂わす診療室である。

X線室は院長室隣りに設え、全額レントゲン〈パントリア5型〉と共に、救急患者治療用

に〈フライン〉がさらに1台設置されている。

スタッフは、歯科医師3名、技工士1名、受付・助手4名の総勢8名。働いておられる医局員は全員院長のお身内という、今どきめずらしい程、恵まれた医院である。

院長は今年69才。日本歯科医専(現・日本歯科大学)を昭和18年に卒業され、当時の若者の大部分がそうであったように、終戦間近の戦場へと駆り出されていった。幸い院長は、陸軍々医学校を卒業し、軍医として内地の陸軍病院勤務で終戦を迎える。柔和で誠実そうな印象であるが、意志は筋金入りであることは間違いなさそうだ。

Q：ご開業は？

院長：昭和23年です。当時は戦後のドサクサ時代で、ユニットも今とはまるで違ったものでしたが、この辺り一帯は無医村が多く、保険制度も完備されていないにも拘わらず患者さんは結構多かったですよ。

Q：ご実家は？ 歯科医師を志された動機は？

院長：父は青果物の卸問屋をやっておりました。父の職業から、最初は農大に進み、その方面で生きようと思っておりましたが、たまたま義歯を入れた父が、それまでは不自由をしていたんですが、何でも食べられ毎日元気で働らせる、歯とはこ

んなにも大切なものか、長生きのものである歯科に進んでみないか、と云われ急ぎま転向、歯科大へと進みました。

Q：ふり返っての人生は？

院長：その時々苦勞はずい分ありましたが、まあ、患者さんに助けられ良い時代を過ごさせて頂いた、というのが実感ですね。昭和30年代に入ると、歯科医師会の仕事に追われ、月5~6回医院を休みましたし、患者さんには、「先生のところはいつ行っても休みなんだから…」と文句も云われましたが、それでも患者さんはじっと待っていてくれました。やはりお互いの信頼関係が私をここまで来させてくれたと感謝しております。有り難いことです。

Q：現在は？

院長：娘が(日歯大)大学を卒業して、私と共に診療生活に入ってくれ、又、この1月からは群馬大の口腔外科で勉強していた息子も来てくれましたので、今は3人で…。患者数は1日平均50~70人。私はもう70才近いので、顔見知りの患者をポツポツと…。でも当院はこれからですよ(笑)。大いに夢を持って生きられる私は幸せ者ですね。

Q：山田郡歯科医師会々長の目を通して、周辺の現状を。



KASAMA DENTAL OFFICE



院長：私が開業した頃は当地区は6医院でしたが、回りの村々には無医村が多かったですね。その6人で長い間やっておりましたが、現在は無医村もなくなり会員数も12名に増え、開業医院数は9軒です。が、この辺はちょっと保守的ですので(笑)…団結力は良いのですが、その反面都会と違って切磋琢磨という点では少し足りないかな(笑)。人口は約44,000人です。全国平均から比べますと過剰という程ではありませんが、県レベルで見ますと、昭和39年頃は460~470名。10年前が500名前後、現在は754名ですから、近年急激に増えていることは確かですね。

Q：そうした中であって、これから開業される若い方々に。

院長：やはり私達の時代と違って、日々の勉強をよくすることと同時に、患者さんとのコミュニケーションを密にして行くことが大切ですね。患者さんが歯科医を選ぶ時代ですから、よほど自覚をもって運営しませんと…。しかし逆から見れば患者さんにとっては良い時代ですからね。他の会社から見れば、これがノーマルかも知れませんよ。

Q：診療室については？

院長：この1月に息子が入るにあたって、内装をし、ユニットも新しくしました。昭和47年の改築時に2階に診療室をもって来たのは、周囲に家が建てこんで来た場

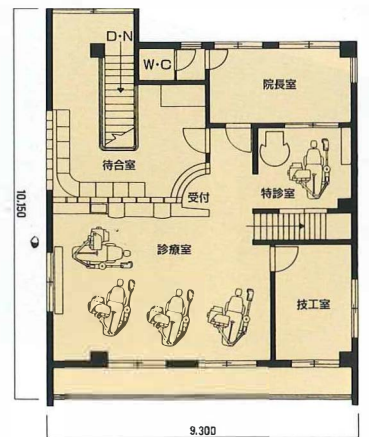
合、内部が暗くなるからと思ったので…。今後は、息子と娘が、身障者用の診療室や医局員室等を1階に作り、いろいろな構想があるらしいんですが…。もう私の時代はそろそろ終わりですから、これからは2人に従ってのんびりとやっていこうと思っております(笑)。

Q：スマイリー〈ファイン〉につきましては？

院長：昨年10月に山岸さん(オサダ代行店・(株)山岸歯科商会)に、台東区で開かれたデンタルショーに誘われ、いっぺんでこの機械に惚れ込んでしまいました(笑)。その後さらに息子と娘と私の3人で五反田のショールームに行き再度確認。操作性、清潔面、サイズ、総て素晴らしいですよ。最も、学生時代を通していろんな機械を使って来たが、こんなに良い機械は初めてだ、と云った息子の意見が最優先だったんですがね(笑)。

Q：最後に当業界の方々に何か？

院長：やはり同業同士、お互いにかばい合いながら、助け合って共に伸びよう、という気持ちが、今の我々には必要なのではないのでしょうか。患者さんもよく見ています。あせった言動は必ず自身にもはね返って来ます。団結してこの時代を共に生きる、こうした姿勢を大切にやって行ってもらいたいと思っております。



〈診療室拝見〉

松本歯科医院

和歌山県那賀郡桃山町調月161

院長 松本昭徳



大阪方面から和歌山市の河口にほど近い紀ノ川を渡ると、突然といった感じで桃畑が広がる。地名もズバリ「桃山町」と呼ばれ、毎年出荷される桃の味は全国一と評されているようだ。

ご紹介の「松本歯科医院」はこの町の東端、貴志川と県道の角地に近い一角に建っている。幅4メートル四方はあるかと思われる鉄骨上に描かれた大看板は、いやでも？人目を引く。1階駐車場から、螺旋状の階段を登ると診療室。川の土手に沿った敷地のため、正面玄関は道路側、つまり建物では2階、道から見れば1階というわけである。

待合室はブルーの床に、木目の壁、上形の両面から背中合わせに座れる大型の待合用椅子が室の中心部にデンとした感じで置かれている。受付上部は全面素通しガラス、下部は木目、台は大理石が使用されている。

診療室は、床はブルー、天井は白、壁面は木目、キャビネットはベージュで統一されている。前面道路側に沿って、ユニオート5900タイプが2台。コーナーには、最新鋭のコンピュータを搭載したスマイリーAZが並ぶ。側面の窓からは川を挟んで貴志の町並、その彼方には春浅い山々が霞に浮ぶ。患者さんにはホッとさせる借景であろう。

院長は、大阪歯科大学を卒業後、しばらく東大阪にある山崎歯科医院に勤務。30才で故郷にもどり、お父様と共に診療生活に入った。尚、お母様も技工士として、お父様を主婦の

かたわら助け続け、現在に至っておられるようだ。

昔は日体大を目指したと云われるほどガッシリとした体軀に似合わず？口調はいたってやさしく丁寧。だらかさと繊細さ、その双方が患者さんにうけるのであろう。現在も厳しい状況にも拘わらず、患者数はかなり多い。又、今年53才と働き盛りの壮年の力が買われているのであろう。県歯の代議員、郡歯の理事と、多忙な日々を過ごされておられるようだ。

Q：全国的に歯科医院が増え、一院当りの患者数が減っているようですが、この辺りは？

院長：この町は人口約1万人に対し3軒。まだ全国平均より少ない(院数)のですが、患者数は昔に比べると少しづつ減って来ていますね。来院される方はこの町を主に、遠くは大阪市内や岸和田方面からも来院されます。

Q：やはりお父様の代からの患者さんが？

院長：1/3程はそうですね。でも父は話好きで、患者数はあまり診なかったですよ(笑)。私の代になって、「丁度ピーク時(患者の)にあたったこともあります。人数はグッと増えました。でも父が結んだ信頼関係が大きかったことは確かで、感謝しております。

Q：秘訣は？

院長：患者さんが決めることであって、私にははっきりとはわからないんですが、やはり相手に一番良いと思う方法を丁寧に納得するよう説明することでしょうか。事情や環境、口腔内状態も全員違いますから、1人1人に合った診療をやるのが大切ではないでしょうか。

Q：スタッフと患者層、診療時間は？

院長：医師は私1人、助手は今日は1名休んでおりますが4名おります。患者層は、土地柄やはり農家の方が多いですね。時間は9時～12時、午後は3時～7時迄です。でも終るのは8時を回り、その後カルテ書き等で、毎夜9時過ぎますね。木曜と土曜の午後は休みで、その日はもっぱらストレス解消、近くの先生と外出します。

Q：スタッフ教育とご自身の勉強は？

院長：スタッフ教育は結構厳しいですよ(笑)。毎年高卒者を地元から1名採っていますが、他院での経験者より、クセの少ない新卒者の方が素直で憶えも良いようです。最初はモタツキますが、2年目に入れば立派に出来ます。

私自身は毎月1回、会員は25～26名ですが、勉強会をもっておりまして、今回で205回目を迎えます。歯科医療全般にわたって、若い人達といっしょに勉強しております。しかし、長い間の勉強や、数多い患者さんの症例からみえますと、昔のやり方の方が良かったケースも



MATSUMOTO DENTAL OFFICE



多いですね。例えば、父の時代に多かった無縫冠など、現在の鑄造冠より、折れにくさやセメントの接着等は良いみたいですよ。何もかも新しければ良いというのではなく自分で試し、良いものは残しつつ、その中に新しいものを加えていく姿勢が大切ですね。

Q：診療室設計にあたっては？

院長：もう15～16年前に建替え、その当時は最新で明るい診療室と評判だったんですよ(笑)。その時ユニット間の仕切りを総て取りはずしたんです。この辺は患者さん同士がほとんど顔見知りですので、挨拶や世間話が気軽に出来るようにしました。やはりその土地柄、患者層に合わせた診療室作りが必要ですね。

Q：ユニオートに続いてスマイリー-AZをご

購入頂きましたが、使い心地はいかがですか？

院長：AZの第1号機ということですが、助手が自分の手元で総てのユニット操作をやれますので、私には楽ですね。又、直角にも座れる椅子は、印象やバイトには最適です。掃除面も、私は厳しいのですが、楽で、女性の方々にとっては助かっているんじゃないですか。見た途端気に入りました。

Q：オサダのソフトレーザー〈ダイオロン〉につきましたは？

院長：これはいいですよ。とまりにくい出血でも、エナックできれいに洗い、これを照射すると2分位でバッチリ止まります。又、痛がっている口内炎や口角炎もピラシク状のひどい時で4～5回、毎回2～3分

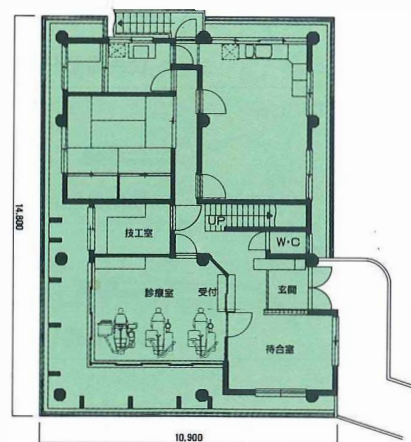
ずつあててやりますと、自然にしばんで治っていきます。ちょっと切れた程度なら1回で充分ですよ。歯の治療とは直接関係はないのですが、患者さんに喜ばれますね。止血でも、患者さんには早く帰れて感謝されるし、ユニットに長く座らせておく必要もないので回転が早く、私も助かります。多方面に充分利用させてもらっていますよ。

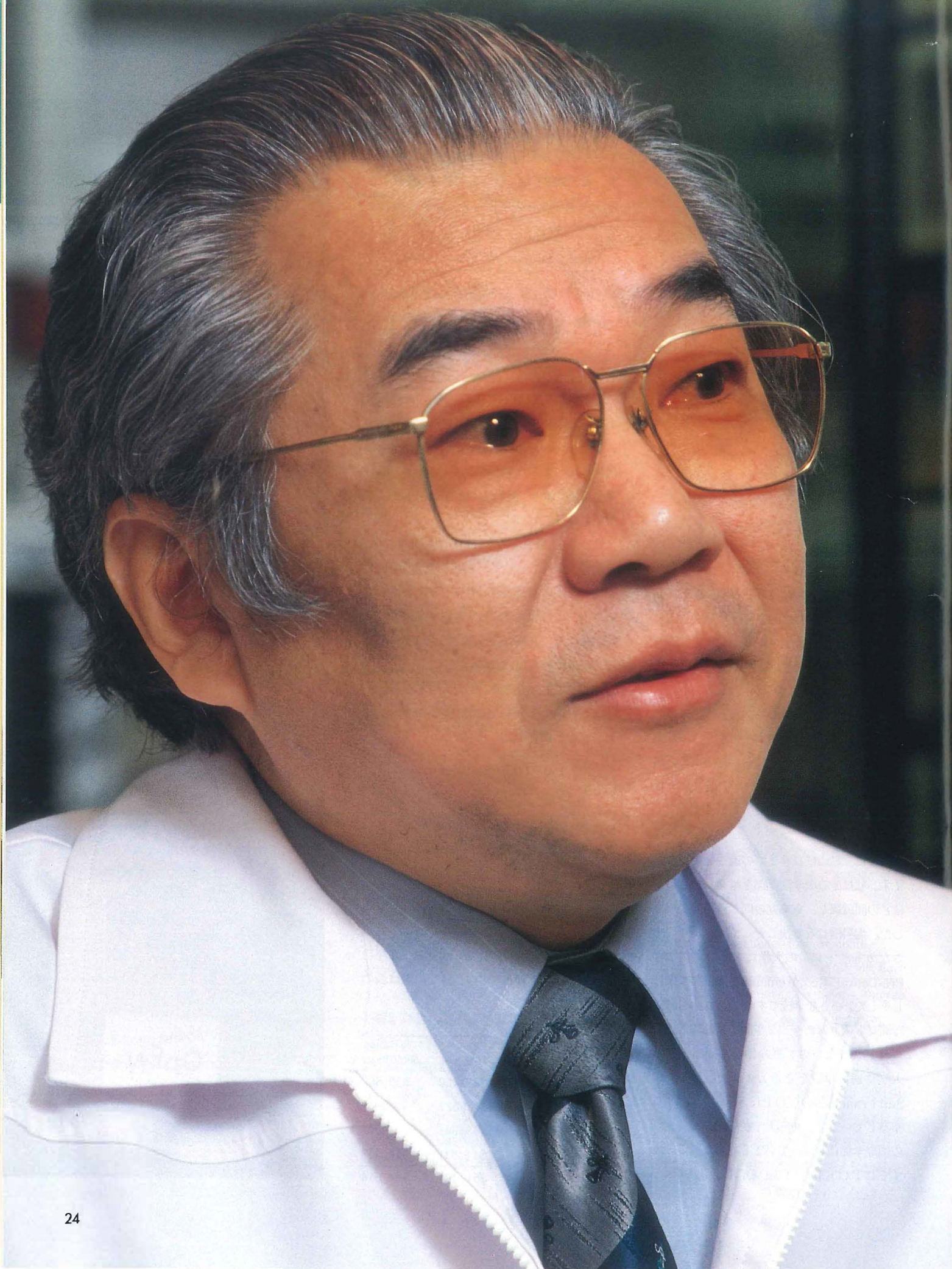
Q：現在の歯科医療界については？

院長：あまり云うと差支えがあるといけませんので(笑)。ただ保険については、補綴物の内容で金額をあげないで、歯科医本来の仕事というべき技術料をあげて欲しいですね。私の場合は保険でやれる範囲内は総て保険。無理な場合のみ一般診療としています。材料費でなく、私達の知識を活かした技術料をもう少し高く評価して頂きたいと思っています。

Q：卒業以来30年近く。友人、知人の皆様に…。

院長：入学時250名いた同期生も、色々な事情によって、だいぶ少なくなりましたが。人生80年時代ですから、なるべく年とらんと、いつまでも若さを保つようにしたいですね。とにかくストレスがたまりやすい仕事ですから、それを、飲んででも良し、カラオケでも良し、自分の好きなもので発散する機会を持つことが必要ですね。又、若い人と多く接することは、柔軟な頭を保つ意味でも大切なことです。皆さんの益々の発展をお祈り致します。





寺川國秀先生 の巻

東京都新宿区大久保2-6-10
新宿アルプス歯科・院長

JR新大久保駅から徒歩で7~8分。明治通りに面したマンションの2階にある診療所は、入口ドアの小さな表示以外、看板とおぼしき物は全く見当らない。が、一步中に入ると、外国人をはじめ、テレビのニュースキャスターなど、歯を含めた容貌にはうるさい？職業の方達が治療を待っていた。札幌正しい医局員の方達に案内されて奥のソファに座ると、黒板には国外の歯科審美学会の予定表がビッシリ書かれているのが目に止まる。地球規模、スケールで、人間の生命の根幹である歯科医療の中で「日本歯科審美研究会」を発展させていこうとされている寺川先生の熱意が伝わって来る。

今号は、東京歯科大学教授であり又歯科審美第1回大会の会長であられた、羽賀通夫先生のリレーで、各種マスコミや講演会等で歯科の重要性を国民に訴える、大活躍の寺川國秀先生を訪問しました。

座ると同時に有歯顎と無歯顎の頭蓋骨を2つ並べて計りに乗せる。「人間の頭部から歯がなくなって、無歯顎になりますと、このように有歯顎の1/2以下の重さになってしまいます。又、正しい咬合圧が頭蓋に刺激を与えなくなった場合は、このように顎骨が軽石のようになるばかりでなく頭蓋骨そのものがボケ(老人性痴呆症)に代表される廃用性の萎縮を起すのです。咬合は咬合面の形態をどうするかの問題だけではなく、頭蓋の萎縮をどのように予防するかという展開が今後は必要になってきます。又、それに伴って変化する顔貌、その場合の患者の心理的、社会的生き方——明るい表情を回復することによって患者の人生をも変えていく可能性を秘めた審美歯科、即ちエステティックの重要

性がここにあるのです。そのことを患者に理解させなければ、入れ歯は所詮単なるプラスチックの固まりにしか過ぎません。患者が何を失っていたかを知り、逆に言えば、患者は何を与えてもらったか、ということを知り得て、真の喜びや健康がとりもどせたと、治療費を支払った後も理解、感謝された時、我々が受ける報酬が正当であると思うのです。これを私は総合して“New Age Dentistry”と呼んでいるのです」又、こうも云われる。

「説明とかカウンセリングをすることは、保険の診療を一般に変えるということではありません。患者の一生と社会との係わりの中で、口腔がどんな大切な意味を持つかということを教えることが目的なのです」こうしたお話しを一つ一つ具体例をあげながら話す先生の顔は、真剣さと共に人をやさしく見つめる慈愛に溢れ、聞く側を飽きさせない。

お生れは大分県。祖父、父と続く歯科医の3代目。幼少の頃は音楽や絵、天文学が好きであったが、長男で跡継ぎということから、東



京歯科大学へ。卒業後東大の口腔外科で勉強中、一年間福島の無医村に派遣される。そこで出会った人々や経験が、私の歯科医としての目を開かせてくれました、と語る。その一例が、「青少年に贈る言葉——わが人生論(大分編)」に掲載されている。限られたスペースゆえ迷ったが、医師として生きる姿勢が何より問われている時代。又これによって、寺川先生の歯科医療にける出発点の総てが凝縮されていると感じられたことから、抜粋してお知らせすることにした。

「(前略)或る日、歯のボロボロになった老婆が来ました。淋しそうな口数の少ない人でしたが、一人息子は戦死し、御主人に先立た

れ、今は生活保護をうけながら一人暮してあることがわかりました。『オバアちゃん、歯をちゃんと綺麗にして、若返らせてあげるから、長生きして下さいヨー…』元気づけながら治療をして最後に義歯を入れて、鏡に顔を映してあげると初めてニコリ笑いました。

『これでジツアマ(おじいさん)と息子のところサ行ける…。』そう言いながら懐から大事そうに、幾重にも包んだ紙袋を取り出し、その中から1枚の色褪せた古い写真を見せてくれました。それは哀しい程に小さな、セピア色の戦死した1人息子の軍服姿の写真でした。もう1つ古新聞に包んだ包みをお礼にといつて恥ずかしそうに置いてゆきました。手にとってみると温かい、何だろうと思いをそっと開けてみると丹念に焼いたトオモロコシが1本はいつていました…。

大学で学んだ理論だけの知識と、ほんの少しの自信が、無医村の中で音をたてて消えてゆきました…。(中略)(大学に帰る日、大勢集まった見送り人の中で)発車の警笛とともに『蛍の光』の曲が流れはじめました。卒業し

たばかりの、未熟な私を医者として受け入れ、励まし、育ててくれた忘れ難いなつかしい顔が、2本のレールの彼方に、だんだん小さく手を振りながら消えてゆきました。

私は今も尚あの汽車にそのまま乗っているのです。(中略)医学の主役は医者です。しかし医療の主役は、医者ではなく患者であることを教えてくれた無医村の日々を28年たった今も想い出します」

人間は何の為に生きるのか。取材時多方面に渡って、素晴らしいお話しをお聞きしたが、多くを書くより、この文章の中から、個々の先生方が“何か”を汲み取っていただければ、と感じた次第です。

STUDY GROUP 紹介

埼玉歯科医師会 学術研究会 〈三土会〉

仁田 仁夫

(埼玉歯科医師会副会長)

高柳 悦郎

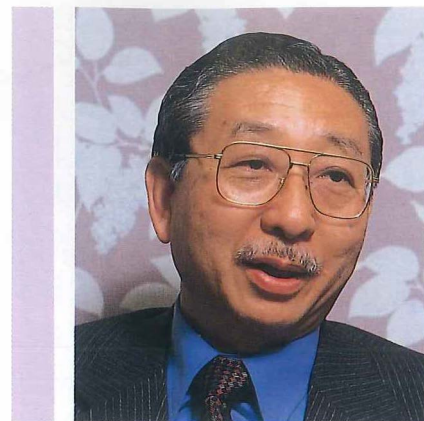
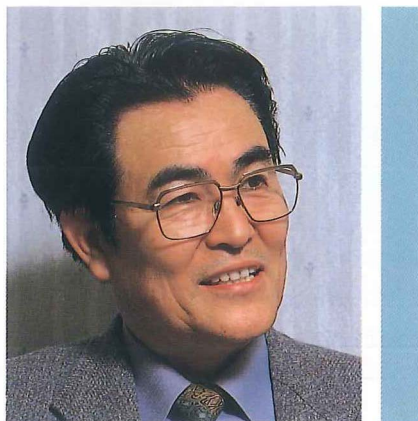
(埼玉歯科医師会学術部長)

本間 孝

勝沼 稔

東京に隣接する草加市・八潮市からはじまり、北は栗橋町まで、南北およそ35キロを包括する埼玉歯科医師会。その学術研究会が、今年5月には300回を迎える。初期の頃は毎週第3土曜日に開催したことから〈三土会〉と称し、有志だけのスタディグループであったが、途中から歯科医師会の後援・主催となり4半世紀。毎月かかさず講演・研修会を行なって来たという。

この全国でも稀な研究会が、今日まで続いた秘訣、運営方法などをご苦心談を交えながら、前学術部長であられた仁田先生、現学術部長の高柳先生、開業の傍ら大学で長年勉強されて来られた本間先生、若い歯科医の代表として勝沼先生に、それぞれの立場からこの研究会の内容を語って頂いた。



編集：この研究会はいつ頃、どんな動機で初められたのでしょうか？

仁田：発足したのは昭和40年6月でした。当時は会員数も87名で、その中から有志だけが集まったスタディグループでしたが、第24回から埼玉歯科医師会学術部主催になり発展して参りました。現在は会員数も394名という大世帯で、南北に広い地域で、端から端まで車で約1時間かかりますので、出席する先生も大変ですが、毎回約1~2割の先生方が出席、勉強されておりまして。

高柳：私も発足当時より関わってきましたが、演者の先生方も、当時は助手・講師の先生方で、現在学長・学部長などになられ、素晴らしい活躍をなされておりまして。それだけに、長年に渡って、この研究会にお骨折りを下さった先生方に、心から感謝しております。当歯科医師会の前会長の方針が“よく学びよく遊べ”、現会長が“会員の和”ということで、学術部に力を入れて頂いており、学術部費を年間約300万円使わせていただいております。

す。従って研究会費無料。2千円の会食費を頂く場合がありますが、この会食時のフリートークが有意義なんですよ。

編集：今年4月より歯科医師に生涯研修制度がとり入れられ、個々にポイント制が表示されるということですが…。

高柳：それでいま頭を悩ませているんですよ。制度の導入の良否は別にしても、制度によりおそらく出席されるであろう300名以上の会員を収容する会場を毎月確保するのは至難の技。発足以来一度も休んだことのないこの会が、今後会場の都合で、ということがなければ良いかと思っています。

本間：私はまだこの会に出席して10年程ですが、多人数の講演会より、30名前後の方が演者の熱気も直に伝わり、聞く内容も充実されるような気がします。又、身近で聞く話しは、演者の先生ともうちとけて、ザックバランな裏話などをお話し下さるし…。こうした良き研修会が制度の導入によって、今後どのようになるか、ちょっと心配ですね。



勝沼：私は父に続いてこの会に出席し、8年目位になります。毎回出席する目的は、やはり勉強は若い間にしなければ、という思いからです。又、それとは別に、我々歯科医は、一日中診療室にいますので、たとえ近所でも知らない先生が多いのですが、こうした会に出ることによって、顔見知り、友人が出来るプラス面があります。これが大会場で大講演会となりますと…。はつきり云ってそうした制度は必要ないのでは、と思っております。

編集：演題・内容等については？

高柳：演題は、その時流にあったテーマ等を取り上げ、学術部委員会で決めております。会員発表も含めて年初に大体決まります。また、日歯・県歯学術大会にはそちらを優先させます。

仁田：内容については、歯科医師会主催ですので、あまり高度な内容ばかりでなく、会員全体のレベルアップということを念頭に置いて、幅広く選んでおります。出来れば、臨床実習なども取り入れたいのですが、会場がなかなかありませんので



…。今後の課題ですね。

編集：日本歯科医師会に何かご要望がありますか？

仁田：我々歯科医に対して、国民から誤解を受けている部分が多いと感じますね。今少し、我々の立場をPRすると共に、我々自身の勉強も、車の免許が3年に1度のチェックがある様に、何等かの制度を設ける必要があるかと考えています。

高柳：今年4月より日本歯科医師会の生涯研修事業が全国規模で始まりますが、これ

を機会に研修事業だけでなくあらゆる面で会員全体の歯科医のレベルアップのためにもっと努力してほしいですね。それにもう一つ、いま仁田先生が言われましたが、PRがもっと上手になって欲しいですね。

本間：我々開業医とは少し離れている感じがします。研修会等のテーマも、開業医の経営レベルに合わせた、実践的なものにして欲しいと思っています。

勝沼：そうですね。歯科医と患者、その両サイドから見た、実際に即した研修会のテーマを選んでもらえるとう有難いですね。

その他、ペンギン会と称する親睦ゴルフ大会等についても語っていただいたが、誌面の都合で、詳しくはお載せ出来ないが、こうした親睦会が、お互いの結束や悩み、相談ごとなどが出来る、新たな友人、知人を得る機会となっていることは確かだ。よく遊び、よく学べ。幅広い知識と豊かな人間性を育成しようという埼玉歯科医師会の方針は、職業柄とかく閉じこもりがち歯科医にとって、公私共に大きな救いとなっていることであろう。



DENTAL SPACE

仕切りを少なくし、待合室からも
診療室が見られる
開放的な医院を、と思いました。

みどり歯科

千葉市千城台1-4-3 平山ビル2F

院長 谷中知子(旧姓・上田)



設計・施工：株式会社プラス・シンセリテイ

開業：平成元年6月

スペース：78.41㎡(約24.06坪)

診療時間：10:00～13:00、15:00～20:00

(休日)日曜、祝日、水曜日

スタッフ構成：歯科医師1名、助手3名

(内、準看護婦1名)

JR千葉駅より東に向かって車でおよそ20分。昨年完成されたばかりのモノレール。そ

の終点一つ手前が千城台北駅。ちなみにこのモノレールは千葉駅まであと一歩。来年全線開通の暁には、千葉市街をほぼJ型に取り囲む形となり、周辺地区は新たな発展を約束されることであろう。

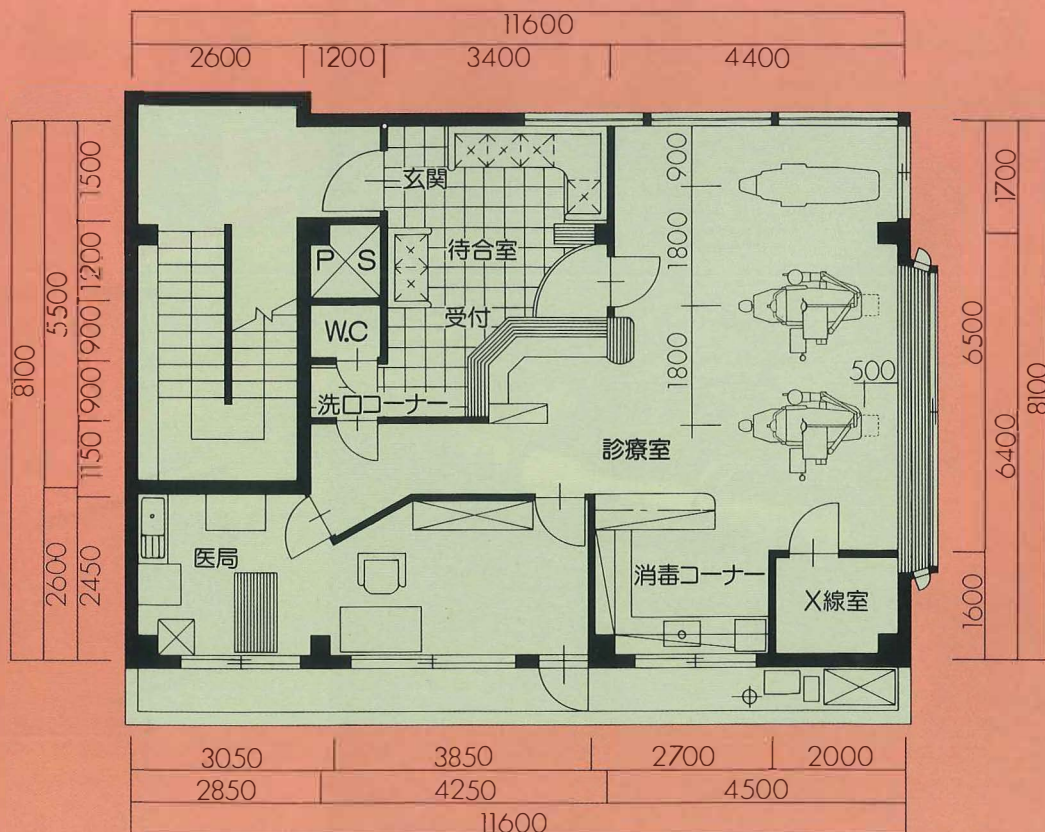
この北駅の真ん前。角地に建つ平山ビルの2階に昨年6月オープンされたばかりのご紹介の「みどり歯科」がある。

待合室は、淡いグリーン色の床に薄茶の5～6人掛けのモダンな椅子。受付台もオーブ

ン式で低めに作られているため、ゆったりとした空間が、さらに広々とした開放感を与え、気持ちがいい。

診療室は、薄茶の床に、消毒コーナーや収納棚は総て淡いグリーンで統一。角ビルの両面から入る光りが室一杯に広がり、窓側に並べられた観葉植物も温室に入ったようで活々としている。

正面窓側に沿って茶とアイボリーのツートンのスマイリーN型が2台、これ又、ゆったり



と置かれている。

院長は昭和大学歯学部第一期生。卒業後は大学の補綴学教室で3年程臨床と研究を。その後、成城学園(東京・世田谷)で勤務医を1年半程経験された後、結婚・出産を経てこの地に開業、独立の道を歩み始めた。

尚、ご主人は東北歯科大学(現・奥羽大学歯学部)を卒業された同年生。現在は千葉大学の口腔外科に勤務されているとのこと。同業であるが、それぞれ自分の志す道を堅実に歩み続ける若き歯科医夫婦である。

Q：これからの夫婦らしい、理想的な形を取られていますね。ご主人の協力度は？

院長：開業にあたっては、場所や設計等色々協力をしてきましたが、開業後の運

営については一切ノータッチです。でもたまにレントゲンフィルムを持ち帰って相談したり、難抜歯等は千葉大に頼んでくれたり、陰での応援はしてくれています。お互いに専門分野が違いますので、こうした形を将来も取り続けてゆくつもりです。

Q：ご主人と知り合ったのは？

院長：実は予備校に通っていた時からなんです。この道に入ったことも主人の影響がたぶんにあります。知り合ってから結婚まで11年かかりました(笑)。

Q：ご実家は？

院長：生れ、育ちは和歌山なのですが、歯科とは全く関係はありません。ただ父は、女性も手に職を持つべきだ、という考えがあり、姉は薬学に進みましたが、薬学は結婚等で退職した場合再復帰は難しいとの意見から、私は主人の影響もあって、歯科の道を選びました。

Q：お子様は？

院長：もうすぐ2才。保育園に預けておりますが、診療時間が夜8時までですので、

引き取りは9時頃。毎夜寝るのは12時過ぎになってしまいますが、今が一番大変な時期と思って頑張っております。結婚後すぐに子供が出来て、出産後も勤めようかと考えましたが、勤務先に迷惑をかけると思い独立することになりました。でもやはり自由になる時間はあまりありませんね(笑)。

Q：この辺りも歯科医院は多いのですか？

院長：周囲ほんの4~5分のところに5~6軒あります。全く未知の土地で、初めはもっと田舎がいいのではないかと考えていましたが、丁度良い場所が見つかりましたので…。開業してから1年もたたないのですが、お陰様で、家族単位や紹介等で来院してくれまして、少しずつ軌道に乗りつつあります。

Q：夕方から夜の患者も多いのですか？

院長：ええ、夜6時から8時までに来られる患者さんが一番多いです。やはり仕事が終わってから、という方が多く、企業もそれだけ厳しくなっている、ということでしょうね。



Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：辛い角面ですので、採光がどの室も良いので、それならそれを活かし、明るく開放的な診療室にしようと、仕切りは最少限にしました。お子様の治療も、母親にしてみれば、どんな状態で治療を受けているか心配ですから、時々ほみたいものですよね。そんな場合でも、受付に立てばほとんど見えますし、安心されるようです。最もお金もあまりありませんでしたので、仕切りを少なくし、少しでも安くあげようと思ったこともあります…(笑)。あとはキャビネットコーナーをコの字型にとり、患者さんから見える側は消毒や私達の手洗いなどに利用し、裏側は印象材や汚れ物など、直接見せたくないことを処理する場所にしました。又、医局員室と院長室も体裁上別にしてありますが、境はほとんど閉めることなく、共同で広く使っております。その点女性同士ですので着替えなども平気ですし、男性歯科医より便利じゃあないかしら…(笑)。



Q：では今のところ悩みは全くない？

院長：いいえ、悩みはありますよ。それは子供ですね。まだ小さいのに、夜遅くまで診療をやっておりますので、どうしても接触する時間が少なく、可哀相だと思えますね。休みの日には、とにかくいっしょにしよう…。学校に入ったら、放課後はここにいたいようにしたい、と考えているんですが…まだ決ってはおりません。

Q：診療上心掛けている点は？

院長：やはり、事前に診療内容などを時間を

かけて、出来るだけ詳しく説明することですね。中には、以前自分の子供がどんな治療を受けたのかも全く知らないお母さんもおられ驚かされます。双方、どちらが悪いとは云えませんが、そういった一方通行で治療する時代はもう終わったのではないのでしょうか。

Q：後に続く女性歯科医の方に？

院長：女性の歯科医は、やる気さえ出せば、男性歯科医より有利な場合が多いと思います。まず、一般的に歯科恐怖症はやは



り根強いですから、女性ならやさしいだろうと…。それと、一家を養うわけではないので、赤字さえ出さなければ、という精神的な安心感がありますね。しかし先に云いましたように、反面女性には出産、子育てという苦しい時期もあることは確かです。私達は両方の実家も遠いので、自分達で乗り切らなければなりません。その場合パートナー(夫)の協力がどの位あるか、で決まりますね。そうしたことが解決できれば、歯科医は女性にとって良い職業であると思います。ぜひ頑張ってください。

Q：オサダのスマイリーN、使い心地はいかがですか？

院長：オサダというメーカーは、主人の勧めです。スマイリーNは、自分でショールームに行き、横になってみて、すごく良かったので、これなら患者さんも気持ちよく治療が受けられるでしょう、と思い決めました。けっこう気に入ってますよ(笑)。

Q：全国におられるご友人の方に…。

院長：子供も生まれ、今は主婦業が忙しい方

が圧倒的に多いと思いますが、お互いに今が一番難しい時、ぜひこれを持ち切ってください。頑張ってください。同窓会で又お会いしましょうね。

〈設計・施工の立場から〉

工事のお話を頂く時点でオサダさんの方で基本設計が出来ており、先生も大変気に入られており、私共では今までの経験を生かし、細部の肉づけのお手伝いをする事より始めました。シンプルで働き易い診療室を合理的に作りたいという事から、床上げ面積を少なくし、開放的という面から間仕切を低くして空調の効率も高めるようにした。又、水場廻りを集中し将来に備えDr手洗、刷掃コーナー等増設可能に適所に設備を床下配管プラグ止にし、特に配管詰り等の万一の場合に備え、系統別に掃除口を考慮した。受付は先生が子供のためにとの優しい配慮から通常より低くし、準備コーナーは見やすく整理しやすいように引出等を配置、柵の高さも工夫した。全体にアイボリー系を基調色とし、窓面積が広いために明るいが落ちつきにくい欠点を補うためにカーテンはブラインド等事務的なものを避け、レースを使用、ソフトな清潔感を出すイメージ創りをした。



歯科医院の新築・改築・増築から、 医院経営まで、 すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

設備機械、器具、材料リスト

〈別冊付録〉

● これから開業される先生方へ
— オサダからのアドバイス他

クリストと基本事項

● 歯科医院のレイアウト実例
● 歯科医院のレイアウトチェックリスト

〈主な項目〉

歯科医院

定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

● 財テク・税テク 他

MS法人・医療法人

● 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却

● 歯科医の節税戦略(青色申告)

資金計画書

● 開業準備の留意点
● 開業準備計画書／開業収支

〈主な項目〉

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(492)7651(代)

オサダの商品
〈お元気ですか?〉

武田歯科医院
東京都八王子市本町10-2



院長 武田文雄

歯科医師 武田喜久子

郊外住宅地の拠点の一つとして、益々巨大化発展する八王子駅周辺部。その駅から徒歩で14~15分。本町通り商店街の一端に建つ「武田歯科医院」。現在はその地位を譲られたが、お母様である喜久子先生がご開業されたのは終戦末期の昭和19年といわれるから、市内では名前の知られた歯科医院として通っていることであろう。

「私は生まれも育ちもこの地この場所ですが、開業して1年程で戦災で焼け丸裸になり、20年に終戦になると同時に再び建て直し開業しました。主人とは別れましたので、いち時は私の肩に親子4人と犬猫3匹(笑)の生活がのしかかり、大変でしたね。3台のユニットを1日中立ちっぱなしで行ったり来たり、当時は1日120人程治療していましたね。お陰様で、2人の子供も歯科医として無事育ち、長男(院長)は私の跡を継ぎ、長女(久美子・鶴見大学歯学部第一期生)も現在近くで歯科医院をやって独立しております。

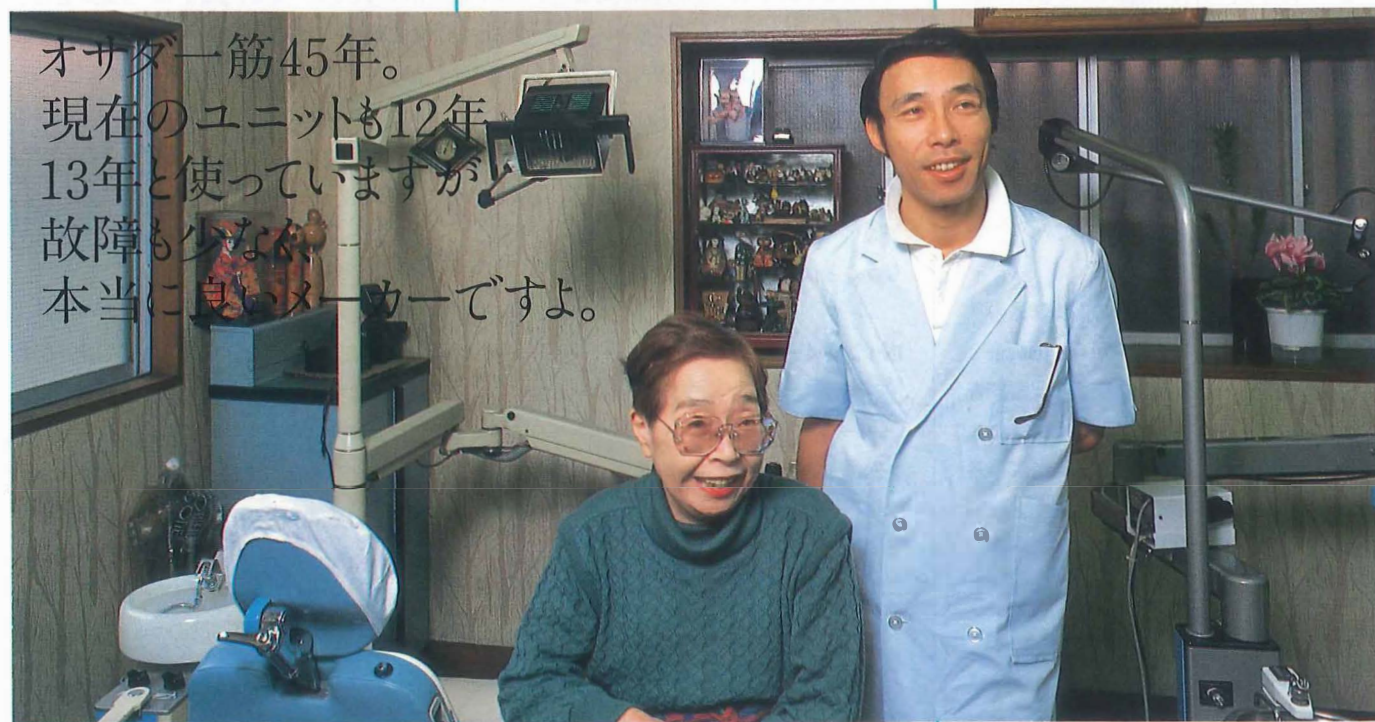
院長は日本大学歯学部を卒業され、同大の医局で5年程臨床と研究を。結婚を機に実家にもどられた。現在は3人のお子様を持つ、42才の脂の乗りきった歯科医としてご活躍。患者さんとの対話もスムーズだ。「医局時代時々手伝いましたが、とにかく当時は番号札を持つ患者さんが、この待合室から外にも溢れ、この床も見えない程でした。ついに母は肝炎で倒れ、それを機会に患者数を減らしま

した。私も大学の医局でしたから、あまり多くの患者さんを治療するクセはついておりませんので、現在は1日25~27人位の患者さんを自分のペースで治療しております。時々母から、まるで遊んでいるみたいだ、と叱られますけどね(笑)」お母様の苦勞を目の前にして育ったからか、サバサバした明るい性格が合うからか、冗談を言い合っている、双方

が心からいたわり合う暖かい気持が伝わってきて気持ちいい。

壁面に沿って、今年13年目を迎えるスマイリー1650型(Tタイプ)、12年目のスマイリーGM、ご購入頂いたばかりの同じくGMが、3台きれいに磨かれ置かれている。「戦後開業してからずっとオサダ一辺倒のようです。母は機械のことはわからず、お店の方から最初勧められたようですが、私も大学で使っていたし、当時から他社製品に比べて故障は格段に少ないし、背板も薄く、治療がやりやすかったの、ここに来てユニットには全く不満はありませんでした。営業の方も人柄が良いし、ユニットについても電話コールで気を配ってくれているしで…使っていても安心していられます。10年以上使っても大きな故障は全くない良いメーカーですよ」と、こちらがテレるほどのうれしいお話。こうした先生がおられるからこそ、朝は3時起き、夜中も12時過ぎまで所員も頑張れる、というものだ。

「私は仕事を趣味として考え、患者さんの相談相手になりながら、皆がたのしく生活を送ることがモットーなんです」と院長。「5人の孫に囲まれ、今日も幸せな日々を過ごすことが出来るのも、歯科医という職業についていたからこそ。女性にとっても歯科医は良い職業ですよ。後に続く方々も頑張ってください」と女性歯科医師の大先輩である喜久子先生は結んだ。



オサダ一筋45年。
現在のユニットも12年
13年と使っていますが、
故障も少ない
本当に良いメーカーですよ。

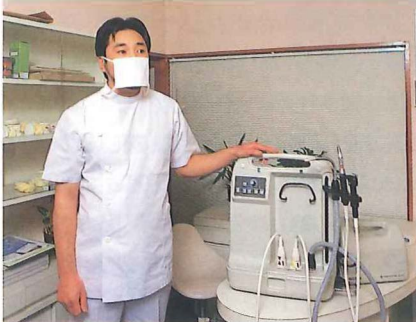
トピックス

在宅歯科診療を個人レベルで実施し、感謝されている、樋口先生を訪ねて

ヒグチ歯科医院

大阪府岸和田市東大路町287

院長 樋口真弘



近年多くの歯科医師会や団体が、来たるべき高齢化社会に備え、在宅歯科診療に対する体制を整えたり、又、既に実施されている地域も多い。歯科医療に対して、とかく批判が多かった数年前に比べ、こうした献身的な活動は今後の歯科界に明るい光を投げかけると共に、歯科医師と住民が信頼を回復させる良き機会となっていくことであろう。

ご紹介のヒグチ歯科医院は、こうした会・グループとは別に、一個人医院として、この在宅歯科診療に取り組み、寝たきり老人・患者さんから大いに感謝されている歯科医である。

ご本人は「歯科医として当り前のことをやっているだけですし、何よりこの職業が大好きなので…」とおっしゃるが、診療が終わった土曜日の夜7時過ぎから、患者さん宅に衛生士と共に直行。時には12時を回ることもあると云う。「以前はもっと遅くなることもありましたが、私は平気なんです、スタッフの女性や患者さんの家の事情もありますからね」と笑う。——初められた動機は？「たまたま知り合ったある病院の院長が『患者さんの中に、歯の治療で困っている方々がいるが、治してもらえないか』と云う相談があったものですから、いいですよ、とお引き受けしたのが最初です。それ以前には、実家のおばあち

やんやその近所の方々の為に時々治療をしてあげておりましたので、そうした方々の治療に不安感はありませんでした。今晚の患者さんは心筋こう塞で集中治療室に入っている方ですが、ほとんどはリウマチの患者さんが多いです」

院長は大阪歯科大学を卒業後、東京で3年間程臨床勉強を。その後郷里にもどり、61年8月開業。「教えて頂いた先生が全国的に名前を知られた立派な先生でしたので、歯科医師としての生き方、物の考え方はその先生の影響を多分に受けております。幸いにも父が土地を持っておりまして、出来たら今後は、そうした土地に、高齢者のための別荘を作り、歯だけではなく、メンタル面でも充実した生活を送らせてあげたい、と考えているんです」確かに樋口先生の場合は恵まれている。が、しかしどんなにお金があっても、それを自身の職業を通して社会に還元し、役立たせたい、という人は少ないし、更に苦勞もいとわず実行に移す人はもっと少ない。今年31才という若さであるが、こうした歯科医師が、豊かな環境をバックに育っている、という事実は素



晴らしい。「医院裏に地域の歯科医師のための研修場を作り、毎日曜日はここで勉強会を開いておりますが、もちろん、この研修会も先述の在宅歯科診療も赤字です。でもお金のことを考えていたら何も出来ませんし、私は仕事以外の趣味は別にありませんので、自分の好きなことをやっているし、こうした歯科医師生活を心から楽しんでやっているだけですから…」聞き方によってはちょっとキザに聞こえるかも知れませんが、とテレながら話される院長の顔には、与えられた使命の中で精一杯生きている爽やかさが溢れている。

「このオサダのポータブルが発売され早速購入しましたが、楽です。ただ在宅診療ですので、院内とは違っていろいろな設備、例えばレントゲンは撮れませんので、抜髄も平均的長さしか出来ません。こうしたことが、厚生省も、今後の老人社会を考え、解決の方向に持って行ってくれば、メーカーも更に良い製品作りをするのではないのでしょうか」私はマスクを取ると思うことが話せないので、失礼ですが…と。どこまでも、歯科一筋という院長である。



アシスタント紹介



延藤歯科医院

大阪市北区堂島1-1-5 梅新ビル3階

院長 延藤秀央

合田佐代子さん(主任)

竹田悦子さん

今井美恵さん

奥矢知美さん

山本圭子さん

福田詔子さん(主任・休日)

豊田清美さん(休日)

JR大阪駅から徒歩で7~8分。堂島川を挟んで林立するビル群は、いわば大阪の心臓部、日本を代表する企業が軒をつらねている。

ご紹介の延藤歯科医院はこのほぼ中心に位置する12階建の梅新ビル3階部にある。あいにく主任の福田さんと衛生士の豊田さんはお休みとのことで、お話しは聞かれなかったが、さすがはこのオフィス街で長年鍛えられて来ただけに、皆さん言葉使いもハキハキと丁寧、爽やかな印象が気持ちいい。都会人を相手に仕事をする場合はこうした雰囲気好感をよぶ。院長の患者層を考えた教育がわかるようである。

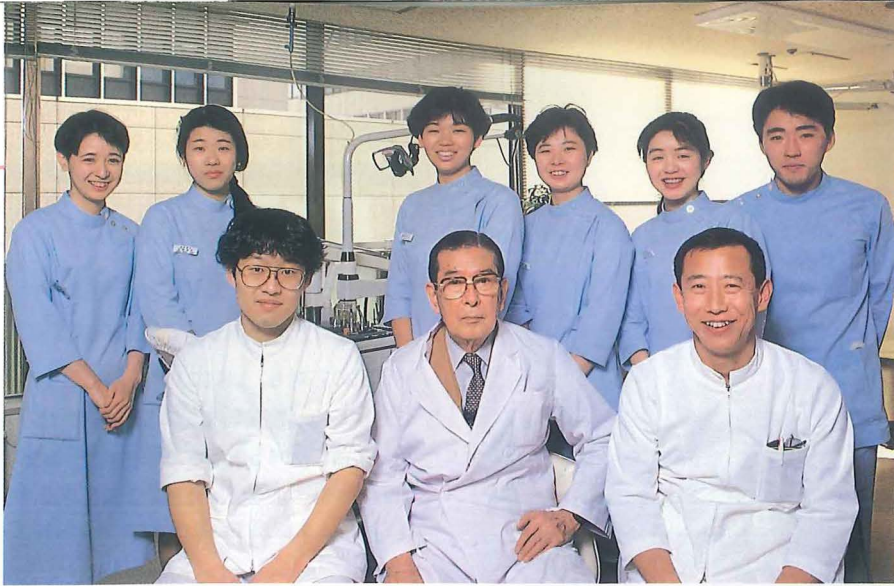
早速手の空いた方から、順次お話を聞くことにした。

最初は、関西女子短期大学医療秘書科を卒業された奥矢さん。指折り数えて教えてくれた経歴は…他院で1年3ヵ月、当院で2年6ヵ月ということだった。主な仕事は受付と事務を柱に助手全般と守備範囲は広い。「卒業生の8割ぐらいか医療関係に就職しますが、その中歯科関係は2割ぐらしかしら。授業内容は医科がほとんどで、歯科は口腔衛生ぐらいで全く少ないのです。最初入ったところで助手としての基本は教わりましたが、ここへ来てその範囲の広さと奥行きに驚いています」他院を辞められた動機は？「やはり一番の動機は仕事内容ですね。助手として一定のことを覚えれば、それ以上の仕事はさせてもらえないので、楽ですが少し不満で…」「ここでは決められた衛生士の仕事以外は、総て全員が何でも出来るよう指導されますので、苦労はしますが、反面やりがいがありますね。この春に1人結婚のため辞めますので、その仕事を皆でどのようにしてカバーしていくか。即実践出来るように、今から考えています」と自身の立場と院内のローテーションをしっかりと話してくれた。院長にとって今後が楽しみなアシスタントさんであろう。

山本さんは、池ノ坊短期大学国文科を卒業され歯科に入った変わり種？。「卒業してすぐは、ファッション関係が好きで、繊維の販売会社に勤めたのですが、仕事柄時間が不規則だし帰りも遅いので、全然違うのですが、今なら自信はありませんが、若かったし(笑)、思い切って転職、歯科に入ってみました」「ここに来て3年目になりますが、だいた

いの流れは覚えましたので、難しいですがこれからも頑張っていきたいと思っています」この医院の魅力は？「やはり院長が、ドクターも技工士も、衛生士も助手も、全員がただ職域が違うだけで、医院には欠かせない人間として、わけへだてなく横レベルで立場を考えてくれますから、やりがいがあります。本当にこの職業、この医院に勤められて良かったと思いますね」と、これ又キチッと理論だてて話してくれた。将来は？「この仕事は男性の進出がない数少ない職業ですし、それだけに女性であることを充分発揮できる仕事です。一時退職しても、再就職のチャンスは多いと思います。そういった意味で、いま基本をしっかりと、と思っています」

今井さんは兵庫県立総合衛生学院の卒業。この道丸2年。そろそろ中堅に入る衛生士さんだ。「卒業後すぐこの医院に入ったのですが、友達と話していても、この医院は他に比べると、院長が若い人の意見をよく聞いてくれ、出来る限りそれを実行させてくれるみたいですね。例えばここは、自分の患者さんを与えられますので、その人の口腔衛生管理を自分で組み立てて遂行出来ますし…。そうした医院は少ないみたいですね。他は知らないのですが、良いところに就職出来たと思っています」将来は？「この仕事はやっていることは同じでも色々な人と会うことが出来ますし、変化もあって楽しいから、結婚するまでは続けたいですね。その先は相手次第で…ちょっとわかりません(笑)」ゆっくりと丁寧、明るい印象の衛生士さんだ。



主任の合田さんは、当院で丸8年を迎えるベテラン衛生士さん。行岡保健衛生学園を卒業後1年余り他院に勤めたが、衛生士本来の仕事と、思い退職。今では女性を束ねる柱として、院長の信頼も厚いようだ。「私は先輩の福田(主任)さんから教わったように、とにかく仲良く、派手な出来不出来に仕事をやりたいと思っています。いま、新しく入った方に毎週1回朝8時45分から9時30分まで、1対1で、主に衛生士の技術的な仕事を教えておりますが、この仕事は奥が深く際限がないでしょ。衛生士として、まあ形になるのは約1年かかりますね。でも1度身につければ、どこでも、いつでも通用しますし、当院の患者さんは、そういった意味でもレベルが高く、大変な反面やりがいもありますね」自分の時間をさいてでも、後輩に技術を教えるようとする責任感。現代っ子にしてはめずらしい?やはり院長の方針、自分で考えそれを実行させる、という姿勢が若い方々を奮起させるのであろう。

竹田さんも合田さんと同じ行岡保健衛生学園の卒業。当院でアルバイト期間も含め7年というベテラン。が、この春結婚のため退職予定。「この職業は良い職業ですが、私の性格から仕事をやる以上は完璧にやりたいと思うから、共働きで中途半端になったら皆にも迷惑をかけますし…。退職することにしました」と話す。それだけに院長も欲しい人材であろう。長年勤めての感想を。「奈良から乗り継ぎが悪いと1時間半ほどかかりますが、やはり先生が1人1人を大切にしてくれますし、やりがいを持たせてくれる、ということが長く続いた原因じゃあないかしら」と当院の感想を語ってくれた。皆さんの話を聞いていて、たとえ年齢差はあっても、人は皆そ

の職業に誇りを持つと同時に、その中から生きがいを見い出そうとして自ら励む。延藤先生はそう云った意味でまさに心を掴む経営をされている、と感じた次第である。



院長 延藤 秀央

〈院長から一言〉

医院に来る人は全員どこか不満があって来院されるのですから、それをどのように聞き、どのように対処するかを考えるのが私達の職業だと思えます。しかしその時々で起る対処、考え方を全員に教えることは出来ません。従って、当院では通常ミーティングを週3回。これは本を読んで自分の意見、考え方を発表することを主に行います。又、週1回は自分の患者で難しかったケースをスライドに撮り皆に説明する症例検討会を。更にドクターと主任の打合せ会を週1回行っています。そうすれば誰が来院されても、患者さんの状態を全員が知っておりますから色々話しが出来ます。そうしたことが苦しいでしょうが、一方、医局員全員のやりがいにつながっているのではないのでしょうか。患者さんにも週1回、スライド100枚を使って講義をする会を設けておりますが…。結局デンタルIQを上げれば、私達の治療もやりやすくなりますし、相互信頼も増すと思うからです。事実診療は以前よりずっとやりやすくなりました。医局員の点数ですか? 彼女達がいてこそ私が安心して診療出来るのですから、90点は充分あげられますよ。



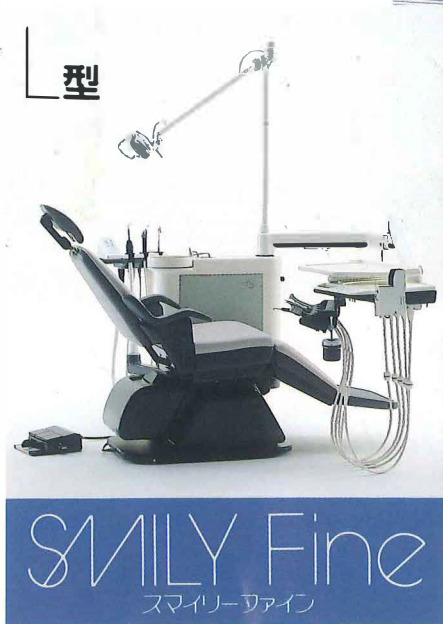
アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



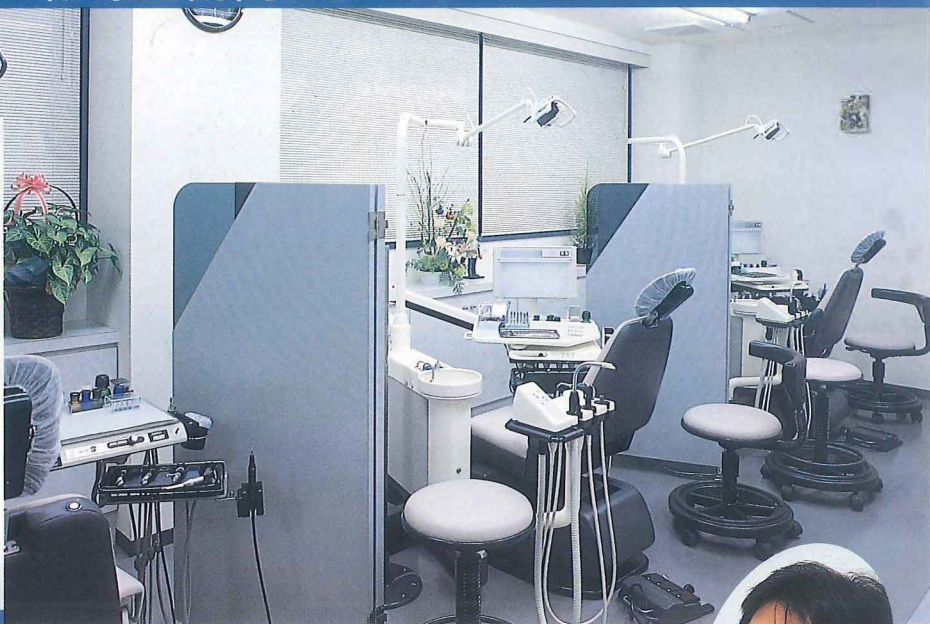
定価6,180円
(本体6,000円)

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎ 03(492)7651(代)

診療室訪問シリーズ



製造承認番号01B第0296号



岡田歯科医院
 神戸市須磨区東白川台1丁目2-1
 院長 **岡田哲也**
 (大阪歯科大学卒・26才)

ゆるやかな山並が幾重にも重なり、そのまま神戸の市街から瀬戸内海へと下る景観豊かな須磨の高台。岡田歯科医院は近年開発されたこの高級住宅街の一角にある、本格的な鉄筋コンクリート作りのモダンな医院である。

コンパクトでスツキリ。

機能的なスマイリーフライン、

気に入っています。

室内は白を基調に濃・薄グレーをアクセント色として使用した、この街に似合った都会派好みの配色。窓に沿って並列に並んだスマイリーフラインL型2台、スマイリーN型1台も、総て同色で統一されている徹底ぶり。決して大きくはないが、落着ける、それだけで若々しい診療室に仕上げている。

◇ 開業は昨年9月。まだ勉強途上にあるため、診療時間は昼間と夜間を週3日づつに分けているが、附近の患者さんに待たれての開業ゆえ、フルタイムの日は30人前後と多い。「1日の患者さんの層をみると、朝方はお年寄り、ひる近くなると主婦の方、午後は子供さんが中心で、夕方からは成人男性が多くなりますね。近くに病院がありますので、その入院患者さんが、ここまでなら歩いて来れます」と結構来院されます。開業には年令的にちよっと早い、と思いましたが、開業予定の看板を見て、「いつですか？早くして下さい」との問合せが多く、開業に踏み切りました。開業地は異なるが、祖父、お父様に続く3代目。それだけに歳は若いですが、医師らしい雰囲気漂わすやさしそうな院長である。

◇ オサダの名前は父から聞いて評判は知っていました。最初はスマイリーへAZCを見てその機能の素晴らしさが気に入っていましたが、それを更にコンパクトにしたのがこのフライングだと聞き、現物も見ないで買いました。スツキリと機能的。見た目も現代的で気に入っております。

